

海事資料 FAX 短信

Vol.140 2008.11.20

(財)日本海事広報協会・海事情報部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580
ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail jo-ho@kaijipr.or.jp

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が、最近発行した機関誌や海事関係資料、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

* 機 関 誌 ・ 広 報 誌 *

<p>環境問題と海運 「せんきょう」10月号 日本船主協会 海運は環境に優しい輸送手段だが、船舶の技術革新を含め、大気汚染防止や温室効果ガスの排出削減等に真剣に取り組んでいる。IMO(国際海事機関)の場で輸送単位当たりのCO2削減計画を策定し、全世界一律に適用する枠組みが期待されている。03-3264-7181</p>	<p>大陸棚、7海域で延長 「海上保安新聞」第2878号 海上保安協会 内閣官房総合海洋政策本部(本部長・麻生総理大臣)は、10月31日、国連の「大陸棚の限界に関する委員会」に提出する限界案を了承、今後の対応を決めた。大陸棚調査の結果7海域で領海基線から200海里を超え大陸棚の延長が考えられる点を踏まえた。03-3297-7580</p>
<p>さかいみなと荘 「船員ほけん」Vol.642 船員保険会 カニの水揚げ量日本一を誇る鳥取県・境港。秋から冬にかけて街はカニ一色となる。同市は漫画家「水木しげる記念館」や「海とくらしの史料館」など見所が沢山あり、「さかいみなと荘」を拠点に観光や魚介類の買い物などが楽しめる。033407-6064</p>	<p>ボクらの未来チャート 「Ocean Gate」Vol.7 全日本海員組合 全国の海事関連の高校、高専、大学で学ぶ学生たちに「夢」を語ってもらうコーナー。今回は水産大学校。山口県下関市の響灘に面した入江にある同校は、海の生態から開発、航海術などを教える海のスペシャリスト養成校。在学生の死傷率が新鮮な印象を与える。03-5410-8311</p>
<p>津波に関する知識の普及・啓発 「CDIT」Vol.26 沿岸技術研究センター 同センターが編集した「TSUNAMI」が全国の書店で発売される。津波の専門書だが、一般の人でも読み易くなっている。忘れられ易い映像ではなく、文字で残し伝えることで、知識として伝えることが大切という。英語版も出版される。03-3234-5862</p>	<p>モノづくり産業を支える北九州港 「港湾」10月 日本港湾協会 同港は、月間190便の国際定期コンテナ航路や内航コンテナ航路、RORO/フェリー航路などで国内外と結ばれ、自動車関連産業が集積。海上出入貨物、コンテナ貨物取扱量は増加傾向にあり、同港が地域経済に与える経済波及効果は年間1兆5,600億円(付加価値ベース)という。03-5549-9575</p>
<p>衝突海難などの事故解析に威力発揮 「船と海のサイエンス」Autumn 海上技術安全研究所 同研究所は、9月1日、所内に「海難事故解析センター」を開設、窓口を一本化して重大海難事故に対する即応体制を整えた。重大海難事故発生時に、同所の専門的知見を活用、情報を分析、結果を迅速に発信するとともに再発防止に役立てる。0422-41-3005</p>	<p>海事都市尾道 海のまちづくり 「Ship&OceanNewsletter」No.197 海洋政策研究財団 尾道市は日本最大の海事都市今治市と姉妹都市。合併した旧因島市では、造船・船用工業が盛んであるが、人材確保難という問題を抱えている。次世代人材育成のため、造船所・進水式見学や体験航海、海に関する講演会など、海のまちづくりに取り組む。03-3502-1828</p>

「海洋」10月号 海洋会
 再来する海洋の危機 03-3262-8632
 「品管時報」Vol.337 日本船舶品質管理協会
 船舶検査心得の一部改正 03-3253-6201
 「会報」第157号 東京湾海難防止協会
 東京国際空港再拡張工事の概要 045-212-1817

「マリエンゴ」NO.742 日本船舶機関士協会
 日本郵船新杉田研修所紹介 03-3264-2518
 「日造協」第410号 日本造船協力事業者団体連合会
 安全衛生70「ハイ」-相談会実施 03-5510-3161
 「日本倉庫時報」第1176号 日本倉庫協会
 倉庫業のIT化-使用実態調査結果 03-3643-1221

* その他海事資料 *

<p>創立40周年記念「発表文献集」 日本造船技術センター 同センターは、昭和42年に設立されて以来、水槽試験、船型研究、船舶の設計・施工監理等の業務を行っている。このほど創立40周年を記念し、同センターの役員が公表した技術論文等を取りまとめ、文献集とし</p>	<p>て刊行した。沿革に続き、発表論文等のリストが、学会誌等、外部の定期刊行物、同センターの定期刊行物、同センターの不定期刊行物の順に紹介され、続いて、主な発表文献52編の抜粋が掲載されている。(別途作成のDVDには殆ど全ての文献を掲載) 問い合わせ先：電話0422-40-2820</p>
---	--

* 海のイベント情報 *

<div data-bbox="175 1311 852 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ハガキにかこう海洋の夢コンテスト 作品を募集・・・海洋研究開発機構</p> </div> <p>独立行政法人海洋研究開発機構は全国の小学生を対象に第11回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」を実施する。 同機構が長年行っている海洋に関する普及啓蒙活動の一環として、児童たちが海洋への憧れや夢・アイデアを描くことによって、海洋への関心を高めるとともに、学校教育の現場において海洋を学びきっかけになることを期待したもの。 今回は、昨年同様の「絵画部門」と「CG(コンピュータグラフィックス)部門」の2部門に加え、船や海洋研究への構想を自由に表現する「アイデア部門」を新設し、児童達の持つ独創性を柔軟に発揮できる幅広い内容で募集する。 募集概要(1)内容 海について抱いている期待、夢を題材とし、ハガキまたはハガキと同じ大きさの用紙に色つきで描いた絵やアイデアを募集。CG部門は電子データではなくハガキと同じ大きさの用紙に印刷した絵を募集。</p>	<p>(2) 募集対象 全国の小学生 (3) 募集期間 平成20年12月1日(月)～平成21年1月31日(土)当日消印有効 (4) 連絡先 第11回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」事務局 TEL 046-867-9002 E-Mail hagaki@jamstec.go.jp/j/kids/hagaki/</p> <div data-bbox="1012 1586 1688 1709" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本郵船歴史博物館で11月22日(土)に 小学3～6年生向けイベント開催</p> </div> <p>内容：「海の動物おもしろ教室&オリジナルはし袋とランチョンマットを作ろう！」 日時：11月22日(土) 13:00～15:00 場所：横浜市中区海岸通り3-9 みなとみらい線「馬車道」6番出口から徒歩2分 定員：30名(先着順) 参加費：小学生無料、保護者500円(入館料のみ) 予約：電話で氏名、学年、人数、電話番号を知らせる。 受付：11月21日(金)まで電話で03-3284-5225まで。 受付時間：平日10時～12時、13時～15時。</p>
---	---

「FAX短信」についてのアンケートにご協力下さい。
 アンケートは当協会ホームページ(<http://www.kaijipr.or.jp>)の「書籍販売」をクリックし、その中の「FAX短信」の欄にあります。